

平成 28 年 2 月 26 日
消 防 庁**消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）等に対する意見募集の結果及び改正告示の公布**

消防庁では、「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）〈告示〉」等の内容について平成 27 年 12 月 29 日から平成 28 年 2 月 1 日までの間、国民の皆様から広く意見を募集したところ、本件に対する御意見はありませんでした。この結果を踏まえて、本日、「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件」等を公布しましたのでお知らせします。

1 主な改正内容

「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件」等は、移動式粉末消火設備の加圧用ガス容器の容器弁が開放できない不具合が発生したこと等を受けて、当該消防用設備等の点検基準等を改正するものです。

2 意見募集の結果

「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）」等の内容について平成 27 年 12 月 29 日から平成 28 年 2 月 1 日までの間、意見を募集したところ、本件に対する御意見はありませんでした。

3 告示の公布

消防庁では、意見募集の結果を踏まえ、「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件」、「不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準の一部を改正する件」及び「消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を改正する件」を平成 28 年 2 月 26 日に公布しました。



(事務連絡先)

消防庁予防課 五月女補佐、境

TEL 03-5253-7523 (直通)

FAX 03-5253-7533

**消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に
添付する点検票の様式の一部を改正する件等について**

平成 28 年 2 月
消防庁 予防課

【改正理由】

平成 22 年 9 月に新潟県柏崎市で発生した火災において、移動式粉末消火設備の加圧用ガス容器の容器弁が開放できないという事案が発生した。このことを踏まえ、一般財団法人日本消防設備安全センターにおいて「消防用設備等の経年劣化に対応した点検方法検討会」が開催され、平成 26 年 9 月に同センターから消防庁に対し、移動式粉末消火設備の加圧用ガス容器の容器弁に係る点検の必要性等について提言がなされた。当該提言を受けて検討を進め、今般、「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式」（昭和 50 年消防庁告示第 14 号）、「不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準」（昭和 51 年消防庁告示第 9 号）及び「消防用設備等試験結果報告書の様式」（平成元年消防庁告示第 4 号）を改正するものである。

1. 消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件について

【改正内容】

ハロゲン化物消火設備の加圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等及び粉末消火設備の加圧式粉末消火剤貯蔵容器等に係る点検の基準について、加圧用ガス容器等のバルブ類を点検の対象に追加する。

また、ハロゲン化物消火設備に係る点検の基準について、圧力上昇防止措置を点検の対象に追加する。

これらの点検基準の改正に伴い、消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を改正する。

【経過措置】

- ① ハロゲン化物消火設備の加圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等及び粉末消火設備の加圧式粉末消火剤貯蔵容器等に係る点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式については、施行日から起算して 3 年を経過するまでの間は、なお従前の例によることができることとする。
- ② ハロゲン化物消火設備の圧力上昇防止措置に係る消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式については、施行日から起算して 6 か月を経過するまでの間は、なお従前の例によることができることとする。

【施行期日】 平成 28 年 6 月 1 日

2. 不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準の一部を改正する件について

【改正内容】

容器弁が手動により容易に開放できること等を容器弁に求められる機能として明文化する。

【経過措置】

規定の明文化であるため設けない。

【施行期日】 公布の日

3. 消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を改正する件について

【改正内容】

消防用設備等試験結果報告書の様式に、ハロゲン化物消火設備及び粉末消火設備に設ける容器弁のバルブ類の開放試験に係る項目を追加するとともに、所要の規定の整備を行う。

【経過措置】

ハロゲン化物消火設備及び粉末消火設備に係る消防用設備等試験結果報告書の様式については、施行日から起算して3年を経過するまでの間は、なお従前の例によることができることとする。

【施行期日】 平成28年6月1日

○消防庁告示第八号

平成十六年消防庁告示第九号（消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式）第二第一号及び第四の規定に基づき、昭和五十年消防庁告示第十四号（消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式）の一部を次のように改正する。

平成二十八年二月二十六日

消防庁長官 佐々木敦朗

別表第七1(2)カ中(カ)を(キ)とし、(オ)の次に次のように加える。

(カ) バルブ類

変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。

別表第七1中(18)を(19)とし、(12)から(17)までを(13)から(18)までとし、(11)の次に次のように加える。

(12) 圧力上昇防止措置

適正に設けられ、機能が正常であること。

別表第八1(2)カ中(カ)を(キ)とし、(オ)の次に次のように加える。

(カ) バルブ類

変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。

別記様式第七（その三）を次のように改める。

別記様式第七

ハログゲン化物消火設備（その3）

配管・管継手					
管支持金具・つり金具					
配管の安全等	安全装置板				
消防器具等	排出装置				
消火剤等	排出装置				
圧力上昇防止措置					
放出装置	形状				
噴射ヘッド	放射障害				
防区	画面変更等				
総区画	外部形状				
開口部の自動閉鎖装置	電気で作動するもの				
	ガス圧で作動するもの				
外部形状					
非充電池	表示				
内部構造（内蔵型）	端子電圧	V			
	充電装置				
	充電装置				
	接続				
	風開の状態				
ホッパ	納箱				
ホッパ	スリール	m			
スリール	スリール				
スリール	スリール				
表示灯・標識（移動式）					
耐震・措置					

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 - 種別・容量等の内部欄は、該当するものについて記入すること。
 - 初燃時は、正帯の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択欄のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 指し内容欄には、該当の設備に記入した内容を記入すること。

附 則

- 1 この告示は、平成二十八年六月一日から施行する。
- 2 ハロゲン化物消火設備の加圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等及び粉末消火設備の加圧式粉末消火剤貯蔵容器等に係る点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式については、この告示による改正後の昭和五十年消防庁告示第十四号（次項において「新告示」という。）別表第七1(2)、別表第八1(2)、別記様式第七（その一）及び別記様式第八（その一）の規定にかかわらず、この告示の施行の日から起算して三年を経過する日までの間は、なお従前の例によることができる。
- 3 ハロゲン化物消火設備の圧力上昇防止措置に係る消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式については、新告示別記様式第七（その三）の規定にかかわらず、この告示の施行の日から起算して六月を経過する日までの間は、なお従前の例によることができる。

昭和五十年消防庁告示第十四号（消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式）の一部を改正する件 新旧対照表

○ 昭和五十年消防庁告示第十四号（消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式）
（傍線部分は改正部分）

改正後	現行
<p>別表第7 ハロゲン化物消火設備の点検の基準</p> <p>1 機器点検</p> <p>次の事項について確認すること。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 加圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等 ア～エ (略) オ バルブ類</p> <p>変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。</p> <p>カ 加圧用ガス容器等 ク～ケ (略) コ <u>バルブ類</u></p> <p>変形、損傷等がなく、<u>開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。</u></p> <p>キ (略)</p>	<p>別表第7 ハロゲン化物消火設備の点検の基準</p> <p>1 機器点検</p> <p>次の事項について確認すること。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 加圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等 ア～エ (略) オ バルブ類</p> <p>変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。</p> <p>カ 加圧用ガス容器等 ク～ケ (略) コ (新設)</p> <p>キ (略)</p>

キ (略)

(3)～(11) (略)

12) 圧力上昇防止措置

適正に設けられ、機能が正常であること。

13)～19) (略)

2 (略)

別表第8 粉末消火設備の点検の基準

1 機器点検

次の事項について確認すること。

(1) (略)

(2) 加圧式粉末消火剤貯蔵容器等

ア～エ (略)

オ バルブ類

変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。

カ 加圧用ガス容器等

ク～ケ (略)

ク) バルブ類

変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。

ケ) (略)

キ (略)

(3)～(11) (略)

(新設)

12)～19) (略)

2 (略)

別表第8 粉末消火設備の点検の基準

1 機器点検

次の事項について確認すること。

(1) (略)

(2) 加圧式粉末消火剤貯蔵容器等

ア～エ (略)

オ バルブ類

変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。

カ 加圧用ガス容器等

ク～ケ (略)

(新設)

ケ) (略)

キ・ク (略)

(3)～(17) (略)

2 (略)

キ・ク (略)

(3)～(17) (略)

2 (略)

別記様式第7

ハロゲン化物消火設備 (その3)

配管等	管継手				
支持金具・つり金具					
配管の安全装置等	安全装置板				
	破板				
消火剤等	排出措置				
圧力上昇防止措置					
放出	表示灯				
	外形				
噴射ヘッド	放射障害				
	外形				
防護区画	変更等				
	形状				
開口部の自動閉鎖装置	形状				
	電気で作動するもの				
外形	形状				
	ガス圧で作動するもの				
非常電源	端子	電圧	V		
	切替装置	電圧			
非常電源	充電	装置			
	接続	線			
周囲の状況	形状				
	納箱				
ホイル	形状				
	サイズ	mm			
ホイル	サイズ				
	サイズ				
表示灯・標識 (移動式)					
備考	差	指	置		

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 指置内容欄には、点検の要措置した内容を記入すること。

別記様式第7

ハロゲン化物消火設備 (その3)

配管等	管継手				
支持金具・つり金具					
配管の安全装置等	安全装置板				
	破板				
消火剤等	排出措置				
放出	表示灯				
	外形				
噴射ヘッド	放射障害				
	外形				
防護区画	変更等				
	形状				
開口部の自動閉鎖装置	形状				
	電気で作動するもの				
外形	形状				
	ガス圧で作動するもの				
非常電源	端子	電圧	V		
	切替装置	電圧			
非常電源	充電	装置			
	接続	線			
周囲の状況	形状				
	納箱				
ホイル	形状				
	サイズ	mm			
ホイル	サイズ				
	サイズ				
表示灯・標識 (移動式)					
備考	差	指	置		

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 指置内容欄には、点検の要措置した内容を記入すること。

○消防庁告示第九号

消防法施行規則（昭和三十六年自治省令第六号）第十九条第五項第八号及び第十三号ハ、第二十条第四項第六号の二及び第八号並びに第二十一条第四項第三号ハ及び第五号の二の規定に基づき、不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準（昭和五十一年消防庁告示第九号）の一部を次のように改正する。

平成二十八年二月二十六日

消防庁長官 佐々木敦朗

第三第一号中(四)を(五)とし、(三)を(四)とし、(二)の次に次のように加える。

(三) 常時閉止状態にあつて、電気式、ガス圧式等の開放装置により開放できるもの又は手動により容易に開放できるものであること。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

○ 不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準の一部を改正する件 新旧対照表

(傍線部分は改正部分)

改 正 後	現 行
<p>第三 容器弁</p> <p>一 構造、材質及び機能</p> <p>容器弁の構造、材質及び機能は、次に定めるところによる。</p> <p>(一)・(二) (略)</p> <p>(三) 常時閉止状態にあつて、電気式、ガス圧式等の開放装置により開放できるもの又は手動により容易に開放できるものであること。</p> <p>(四) 時間の経過による変質により機能に影響を及ぼさず、かつ、輸送等の振動に耐えるものであること。</p> <p>(五) ほこり又は湿気により機能に異常を生じないものであること。</p> <p>二〇七 (略)</p>	<p>第三 容器弁</p> <p>一 構造、材質及び機能</p> <p>容器弁の構造、材質及び機能は、次に定めるところによる。</p> <p>(一)・(二) (略)</p> <p>(新設)</p> <p>(三) 時間の経過による変質により機能に影響を及ぼさず、かつ、輸送等の振動に耐えるものであること。</p> <p>(四) ほこり又は湿気により機能に異常を生じないものであること。</p> <p>二〇七 (略)</p>


○消防庁告示第十号

消防法施行規則（昭和三十六年自治省令第六号）第三十一条の三第五項の規定に基づき、平成元年消防庁告示第四号（消防用設備等試験結果報告書の様式）の一部を次のように改正する。

平成二十八年二月二十六日

消防庁長官 佐々木敦朗

別記様式第七及び別記様式第八を次のように改める。



ハロゲン化物消火設備試験結果報告書

試験実施日 年 月 日

試験実施者

住所

氏名

印

設置階 防護対象物の種別

設備場所

放出方式 固定式 全滅放出方式 局所放出方式 設計放出時間 sec

移動式 設計放出時間 sec

試験項目		種別・容量等の内容	結果
外観	貯蔵容器等	種別	
	設置場所	設置場所	
		表示・標識	
	設置場所等	貯蔵容器	
		警圧値(縮圧式に限る.)	MPa
	機器	充填比	
		容器弁開放装置	
	安全装置・破壊板		
試験	設置場所等	設置場所	
		加圧容器	
	加圧用ガス	安全装置・容器弁	
		種別	
起動用ガス	容量	kg	
	構造等		
容器	弁		

試験項目		種別・容量等の内容	結果
選択弁	設置場所等	設置場所	
	機器	表示 導管接続部 構造	
起動助装置	設置場所等	設置場所	
		設置位置	
		設置高さ	床面からの高さ m
		設備表示	
		取扱表示	
	機器	塗色等	
		防護措置	
		表示灯	
		スイッチ	
		等	
自動起動装置	設置場所等		
	手動・自動切替装置		
	構造等		
	感知器		
警報装置	設置位置		
	警報方式		
	音声再生装置の設置場所		
	構造・性能		
制御装置	機器等	制御盤	
		表示灯・スイッチ類	
		防護措置	
		遅延装置	
		自動・手動起動切替装置	
配管・バルブ類	設置状況	配管系	
		配管	
		操作管・逆止弁	
		構造材料	
安全装置	設置	口径	
		全	

試験項目		種別・容量等の内容	結果
外観試験	設置位置	_____	
	構造・性能	_____	
	防護区	_____	
	開口部の自動閉鎖措置等	_____	
	消火剤を付加する開口部面積	_____	
	消火剤流出防止措置	_____	
	開口部の位置	_____	
	消火剤排出措置	_____	
	圧力上昇防止措置	_____	
	温度低下防止措置	_____	
電源	非常電源の種類	自家発電設備・蓄電池設備・燃料電池設備	
	非常電源の電圧	V	
ノズル・ホース等	設置位置	_____	
	構造・性能	_____	
機能試験	表示灯・標識	_____	
	副	_____	
	防護区	_____	
	圧力調整装置試験	_____	
	容器弁開放装置の作動試験	_____	
	※容器弁のバルブ類の開放試験	_____	
	選択弁作動試験	_____	
	遅延時間	_____	
	非常停止機構作動状況	_____	
	音響警報先行作動状況	_____	
作動試験	自動・手動切替作動状況	_____	
	※異常信号試験	_____	
	短絡試験	_____	
	地絡試験	_____	
	起動装置による作動状況	_____	
	警報鳴動状況	_____	
	音	_____	
	音響警報装置作動状況	_____	
	自動警報作動状況	_____	
	警報装置試験	_____	

ハロゲン化物消火設備

①

機能試験 作動試験	試験項目		種別・容量等の内容	結果
	付属装置 運動試験	作動状況 復旧換作状況		
総合試験 総合作動 試験	放出	消火剤排出試験		
		表示灯試験		
	全滅放出 方式又は 局所放出 方式	選択弁作動状況・放出系閉		
		通気状況		
		気密状況		
		区画別貯蔵容器開放致		
		音響警報装置作動状況		
		放出表示灯点灯状況		
		付属装置作動状況		
		移動式	移動式作動状況	
備考				

- 備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 選択段のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 ※印の記載は、「不活性ガス消火設備等の制御盤の基準」(平成18年消防庁告示第38号)又は「不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び取扱段の基準」(昭和51年消防庁告示第9号)に適合している旨の表示が付けられているものにあつては、省略することができる。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 非常電線及び電線についての試験結果報告書を添付すること。
- 6 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

粉末消火設備試験結果報告書

試験実施日 年 月 日

試験実施者

住 所

氏 名

印

設置時	防護対象物の種別		
設置場所			
放出方式	固定式 全域放出方式 局所放出方式	設計放出時間	sec
移動式		設計放出時間	sec
試験項目			
貯蔵	火 利 等	種別	質量
場所等	設置場所		kg
	表示・標識		
	貯蔵容器		
	蓄圧式		
	容器弁開放装置		
	貯蔵タンク		
	加圧式		
	定圧作動装置		
	充填		
	安全装置		
設置場所等			
試験機			
加圧用ガス	加 圧 容 器		
	容器弁		
	容器弁開放装置		
	種別		
	質量		kg

粉末消火設備

②

試験項目		場所	種別・容量等の内容	結果	
外部観視	起動装置	起動装置			
		手動起動装置			
	選択弁	設置場所等	設置場所		
			設置位置		
		設置高さ	床面からの高さ m		
		設備表示			
		取扱表示			
		塗色等			
	機器	防護措置			
		表示灯			
機器	スイッチ				
	設置場所等				
自動起動装置	機器	構造等			
	機器	感知器			
警報装置	機器	警報の方式			
		音再生装置の設置場所			
試験	設置場所等	構造・性能			
		設置場所等			
制御装置	機器等	制御盤			
		表示灯・スイッチ類			
		防護措置			
		遅延装置			
		自動・手動切替装置			
配管・バルブ類	配管	設置状況			
		配管系統等			

試験項目		種類・容量等の内容	結果
外	配管・バルブ類	操作管・逆止弁	—
		構造・使用数等	—
	噴射ヘッド	口径・使用数等	—
		安全装置等	—
	防護区画等	設置場所等	—
		構造・性能	—
		防壁区画	—
		開口部の自動閉鎖装置等	—
	試験	消火剤を付加する開口部面積	—
		消火剤流出防止措置	—
電源	常用電源の種類	—	
	非常電源の種類	自家発電設備・蓄電池設備・UPS機設備 V	
変	設置位置	—	
	構造・性能	—	
副	表示灯・標識	—	
	震措措置	—	
機能試験	防護区画	容器弁開放装置の作動試験	—
		※容器弁のバルブ類の開放試験	—
	遅延時間	弁作動試験	—
		遅延時間	—
	制御装置試験	非常停止機構作動状況	—
		音響警報先行作動状況	—
	警報装置試験	自動・手動切替作動状況	—
		起動装置による作動状況	—
		警報鳴動状況	—
		音響警報装置作動状況	—
付属装置試験	自動警報作動状況	—	
	作動状況	—	
復旧操作状況	—	—	

粉末消火設備

①

試験項目	種別・容量等の内容		結果
	試験項目	種別・容量等の内容	
機能試験 作動試験	定圧作動装置試験	作動圧力 (MPa)	
	放出装置試験	作動時間 (sec)	
	圧力調整装置試験		
	クリーニング装置試験		
	選択弁作動状況・放出系路		
	通気状況		
総合試験 総合作動試験	全域放出方式又は局所放出方式	音響報知装置作動状況	
	移動式	放出表示灯点灯状況	
		附属装置作動状況	
	移動式	移動式作動状況	
	備考		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 ※印の試験は、「不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準」(昭和51年消防庁告示第9号)に適合している旨の表示が行われているものにあつては、省略することができる。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
- 6 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

附 則

- 1 この告示は、平成二十八年六月一日から施行する。
- 2 ハロゲン化物消火設備及び粉末消火設備に係る消防用設備等試験結果報告書の様式については、この告示による改正後の平成元年消防庁告示第四号別記様式第七及び別記様式第八の規定にかかわらず、この告示の施行の日から起算して三年を経過する日までの間は、なお従前の例によることができる。

○ 平成元年消防庁告示第四号（消防用設備等試験結果報告書の様式）の一部を改正する件 新旧対照表

（傍線部分は改正部分）

<p>←</p>	<p>改 正 後</p>
<p>←</p>	<p>現 行</p>

ハロゲン化物消火設備試験結果報告書

試験実施者
住所
氏名 印

試験実施日 年 月 日

設置場所	防護対象物の種別	固定式 全滅放出方式 局所放出方式	設計放出時間 sec
設置場所		移動式	設計放出時間 sec
試験項目等			
貯蔵容器等	設置場所	設置場所	種別・容量等の内容
		表示・標識	kg
貯蔵容器等	機器	貯蔵容器	
		圧力値(標識式に限る)	MPa
		左てん比	
		容器非開放装置	
安全装置・破壊板			
試験機			
加圧用ガス容器	設置場所	加圧容器	
		安全装置・容器弁	
加圧用ガス容器	種別	種別	
		質量	kg
試験機			
起動用ガス容器	設置場所	構造等	

ハロゲン化物消火設備試験結果報告書

試験実施者
住所
氏名 印

試験実施日 年 月 日

設置場所	防護対象物の種別	固定式 全滅放出方式 局所放出方式	設計放出時間 sec
設置場所		移動式	設計放出時間 sec
試験項目等			
貯蔵容器等	設置場所	設置場所	種別・容量等の内容
		表示・標識	kg
貯蔵容器等	機器	貯蔵容器	
		圧力値(標識式に限る)	MPa
		左てん比	
		容器非開放装置	
安全装置・破壊板			
試験機			
加圧用ガス容器	設置場所	加圧容器	
		安全装置・容器弁	
加圧用ガス容器	種別	種別	
		質量	kg
試験機			
起動用ガス容器	設置場所	構造等	

② ハロゲン化物消火設備

試験	項目	種別・容量等の内容	結果	
				設置場所等
試験 外観	選択弁	設置場所等		
		機器		
	設置場所等	設置場所		
		設置位置		
		設置高さ	床面からの高さ m	
		取備表		
		取備表示		
		塗色		
		防護措置		
		表示灯		
試験 機能	自動起動装置	感知器		
		構造		
	手動・自動切替装置	構造		
		感知器		
	警報装置	警報方式		
		音声再生装置の設置場所 構造・性能		
	制御装置	制御		
		表示灯・スイッチ類		
		防護措置		
		遅延装置		
配管・バルブ類	設置状況			
	配管系			
	操作管・逆止弁			
	構造・使用材料 口径・使用数等			

③ ハロゲン化物消火設備

試験	項目	種別・容量等の内容	結果	
				設置場所等
試験 外観	選択弁	設置場所等		
		機器		
	設置場所等	設置場所		
		設置位置		
		設置高さ	床面からの高さ m	
		取備表		
		取備表示		
		塗色		
		防護措置		
		表示灯		
試験 機能	自動起動装置	感知器		
		構造		
	手動・自動切替装置	構造		
		感知器		
	警報装置	警報方式		
		音声再生装置の設置場所 構造・性能		
	制御装置	制御		
		表示灯・スイッチ類		
		防護措置		
		遅延装置		
配管・バルブ類	設置状況			
	配管系			
	操作管・逆止弁			
	構造・使用材料 口径・使用数等			

ハロゲン化物消火設備

③

試験項目		種別・容量等の内容	結果	
外観試験 防護区側等	噴射ヘッド			
	設置位置・性能			
	構造・性能			
	防護区側面			
	開口部の自動閉鎖措置等			
	消火剤を付加する開口部面積			
	消火剤流出防止措置			
	開口部の位置			
	消火剤排出措置			
	圧力上昇防止措置			
電源試験 ノズル・ホース等	常用電源の種類	自家発電設備・蓄電池設備・燃料電池設備		
	非常電源の種類	V		
	設置位置			
	構造・性能			
	表示灯・標識			
	機能試験	防護区側面		
		圧力調整装置試験		
		容器弁開放装置の作動試験		
		送容器弁のバルブ等の開放試験		
		選択弁作動試験		
遅延時間				
非常停止機構作動状況				
音響警報先行作動状況				
自動・手動切替作動状況				
短絡試験				
異常信号				
送機装置による作動状況				
起動装置による作動状況				
警報鳴動状況				
音				
警報装置試験				
音声警報装置作動状況				
自動警報作動状況				

ハロゲン化物消火設備

③

試験項目		種別・容量等の内容	結果	
外観試験 防護区側等	安全装置			
	噴射ヘッド			
	設置位置・性能			
	構造・性能			
	防護区側面			
	開口部の自動閉鎖措置等			
	消火剤を付加する開口部面積			
	消火剤流出防止措置			
	開口部の位置			
	消火剤排出措置			
電源試験 ノズル・ホース等	常用電源の種類	自家発電設備・蓄電池設備・燃料電池設備		
	非常電源の種類	V		
	設置位置			
	構造・性能			
	表示灯・標識			
	機能試験	防護区側面		
		圧力調整装置試験		
		容器弁開放装置の作動試験		
		送容器弁の作動試験		
		選択弁作動試験		
遅延時間				
非常停止機構作動状況				
音響警報先行作動状況				
自動・手動切替作動状況				
短絡試験				
異常信号				
送機装置による作動状況				
起動装置による作動状況				
警報鳴動状況				
音				
警報装置試験				
音声警報装置作動状況				
自動警報作動状況				

① ハロゲン化物消火設備

試験項目	状況	種別・容量等の内容	結果
機能試験 作動試験	付属装置 連動試験	復旧操作状況	
	消火放出	剤排出試験 表示灯試験	
総合試験 総合作動 試験	全域放出 方式又は 局所放出 方式	運転弁作動状況・吐出量	
		通気状況	
		気密状況	
		区画別貯蔵容器開放数	
		音響警報装置作動状況	
	放出表示灯点灯状況		
	附属装置作動状況		
	移動式	移動式作動状況	

- 備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
 3 空白の試験は、「不活性ガス消火設備等の制御盤の構造」（平成13年消防庁告示第38号）又は「不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び配管の取付」（消防法施行令第9号）に適合している旨の表を添付されているものにあつては、省略することができぬ。
 4 結果の欄には、良否を記入すること。
 5 非常通報及び配管についての試験結果報告書を添付すること。
 6 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

② ハロゲン化物消火設備

試験項目	状況	種別・容量等の内容	結果
機能試験 作動試験	付属装置 連動試験	復旧操作状況	
	消火放出	剤排出試験 表示灯試験	
総合試験 総合作動 試験	全域放出 方式又は 局所放出 方式	運転弁作動状況・吐出量	
		通気状況	
		気密状況	
		区画別貯蔵容器開放数	
		音響警報装置作動状況	
	放出表示灯点灯状況		
	附属装置作動状況		
	移動式	移動式作動状況	

- 備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
 3 結果の欄には、良否を記入すること。
 4 非常通報及び配管についての試験結果報告書を添付すること。
 5 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

別記様式第 8

①

粉末消火設備試験結果報告書				試験実施日	年	月	日
試験実施者				氏名			
住所				氏名			
氏名				印			
設置階	防護対象物の種別						
設置場所							
放出方式	全域放出方式	局所放出方式	設計放出時間	sec			
移動式			設計放出時間	sec			
試験項目			種別・容量等の内容	kg			
貯蔵場所等	設置場所等	表示標識	種別	kg			
貯蔵容器等	機器	貯蔵容器	種別	kg			
			容量	kg			
			貯蔵タンク	kg			
			加圧式	kg			
			定圧作動装置	kg			
安全装置	比率		kg				
設置場所等	安全装置		kg				
加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	kg				
加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	kg				
加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	kg				
加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	kg				
加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	kg				

別記様式第 8

①

粉末消火設備試験結果報告書				試験実施日	年	月	日
試験実施者				氏名			
住所				氏名			
氏名				印			
設置階	防護対象物の種別						
設置場所							
放出方式	全域放出方式	局所放出方式	設計放出時間	sec			
移動式			設計放出時間	sec			
試験項目			種別・容量等の内容	kg			
貯蔵場所等	設置場所等	表示標識	種別	kg			
貯蔵容器等	機器	貯蔵容器	種別	kg			
			容量	kg			
			貯蔵タンク	kg			
			加圧式	kg			
			定圧作動装置	kg			
安全装置	比率		kg				
設置場所等	安全装置		kg				
加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	kg				
加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	kg				
加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	kg				
加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	kg				
加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	kg				

粉米消火設備

②

試験項目		種別・容量等の内容	結果	
起動用器	機	_____		
	構造等	_____		
選択弁	設置場所等	_____		
	構造	_____		
外観	起動装置	設置場所等	設置場所	_____
			設置位置	_____
			設置高さ	_____
			取扱表示	_____
			塗色等	_____
			防護措置	_____
			表示灯	_____
			スイッチ	_____
			設置場所等	_____
			構造等	_____
内観	警報装置	設置場所等	警報の方式	_____
			音声再生装置の設置場所	_____
			構造・性能	_____
			設置場所等	_____
			制御盤	_____
			表示灯・スイッチ類	_____
			防護措置	_____
			遅延装置	_____
			自動・手動切替装置	_____
			状況	_____
配管・バルブ類	配管系	_____		

粉米消火設備

②

試験項目		種別・容量等の内容	結果	
起動用器	機	_____		
	構造等	_____		
選択弁	設置場所等	_____		
	構造	_____		
外観	起動装置	設置場所等	設置場所	_____
			設置位置	_____
			設置高さ	床面からの高さ _____ m
			取扱表示	_____
			塗色等	_____
			防護措置	_____
			表示灯	_____
			スイッチ	_____
			設置場所等	_____
			構造等	_____
内観	警報装置	設置場所等	警報の方式	_____
			音声再生装置の設置場所	_____
			構造・性能	_____
			設置場所等	_____
			制御盤	_____
			表示灯・スイッチ類	_____
			防護措置	_____
			遅延装置	_____
			自動・手動切替装置	_____
			状況	_____
配管・バルブ類	配管系	_____		

粉未消火設備

③

試験項目		種別・容量等の内容	結果	
外	操作管・逆止弁	—		
	配管・バルブ類	—		
	構造・使用数等	—		
	安全装置等	—		
	噴射ヘッド	—		
	構造・性能	—		
	防護区画	—		
	開口部の自動閉鎖装置等	—		
	消火剤を付加する開口部面積	—		
	消火剤流出防止措置	—		
電源	非常用電源の種別	自家発電機・蓄電池・燃料電池		
機	設置位置	—		
	構造・性能	—		
	表示灯・標識	—		
	防護区画	—		
	容器非開放装置の作動試験	—		
	容器非開放装置の開放試験	—		
	遅延時間	—		
	制御装置	非常停止機構作動状況		
	試験	自動・手動切替作動状況		
		起動装置による作動状況		
警報鳴動状況				
警報装置		音		
音響警報装置作動状況				
自動警報作動状況				
作動試験		付属装置		
動作状況				
復旧操作状況				

粉未消火設備

③

試験項目		種別・容量等の内容	結果	
外	操作管・逆止弁	—		
	配管・バルブ類	—		
	構造・使用数等	—		
	安全装置等	—		
	噴射ヘッド	—		
	構造・性能	—		
	防護区画	—		
	開口部の自動閉鎖装置等	—		
	消火剤を付加する開口部面積	—		
	消火剤流出防止措置	—		
電源	非常用電源の種別	自家発電機・蓄電池・燃料電池		
機	設置位置	—		
	構造・性能	—		
	表示灯・標識	—		
	防護区画	—		
	容器非開放装置の作動試験	—		
	容器非開放装置の開放試験	—		
	遅延時間	—		
	制御装置	非常停止機構作動状況		
	試験	自動・手動切替作動状況		
		起動装置による作動状況		
警報鳴動状況				
警報装置		音		
音響警報装置作動状況				
自動警報作動状況				
作動試験		付属装置		
動作状況				
復旧操作状況				

粉末消火設備

①

試験項目	種別・容量等の内容	結果	試験項目	
			定圧作動装置試験	作動圧力 (MPa)
機能試験	放出表示灯試験		作動時間 (sec)	
			圧力調整装置試験	
機能試験	クリーニング装置試験		選択作動状況・放出系路	
			通気状況	
総合試験	全域放出方式又は局所放出方式		気密状況	
			音響警報装置作動状況	
			放出表示灯点灯状況	
			附属装置作動状況	
			移動式移動式作動状況	
備考				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 ※印の反映は、「不活性ガス消火設備等の設置等、安全装置及び強磁場の基準」(昭和51年消防庁告示第9号)に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
- 6 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

粉末消火設備

①

試験項目	種別・容量等の内容	結果	試験項目	
			定圧作動装置試験	作動圧力 (MPa)
機能試験	放出表示灯試験		作動時間 (sec)	
			圧力調整装置試験	
機能試験	クリーニング装置試験		選択作動状況・放出系路	
			通気状況	
総合試験	全域放出方式又は局所放出方式		気密状況	
			音響警報装置作動状況	
			放出表示灯点灯状況	
			附属装置作動状況	
			移動式移動式作動状況	
備考				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 結果の欄には、良否を記入すること。
- 4 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
- 5 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。